



Takashi Sato Schubert-Zyklus

佐藤卓史

シューベルトツィクルス

ピアノ曲全曲演奏会

第12回

ピアノ・ソナタⅣ

— はじめてのソナタ —

フランツ・シューベルト:

30のメヌエット D41より 現存する20曲 (1813)

ピアノ・ソナタ ホ長調 D154 (1815)

[未完・佐藤卓史による補筆完成版]

ピアノ・ソナタ 第1番 ホ長調 D157 (1815)

ピアノ・ソナタ 第3番 ホ長調 D459 (1816)

3つのピアノ曲 D459A (1816?)

アダージョ ハ長調 D349 (1816?)

[未完・佐藤卓史による補筆完成版]

2020年 9月 6日(日) 13:30開場 14:00開演

音楽の友ホール

入場料(全席自由): 一般4,000円 学生2,000円

※本公演は3月1日に予定されていた演奏会の振替公演です。

design by MAI KUDO

後援: 株式会社ヤマハミュージックジャパン 鍵盤マーケティング部 ピアノ・EKBマーケティング課 ベーゼンドルファー・ジャパン、株式会社河合楽器製作所、島村楽器株式会社、月刊ショパン、一般社団法人日本ピアノ調律師協会、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、国際フランツ・シューベルト協会、フランツ・シューベルト・ソサエティ、東京藝術大学音楽学部同声会、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校響親会

マネジメント・お問い合わせ: アスペン 03-5467-0081

チケット取扱: アスペン 03-5467-0081 e+ (イープラス) eplus.jp

チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp (Pコード:181-301)

Aspen

佐藤卓史シューベルトツィクルスとは・・・

第11回シューベルト国際ピアノコンクールの覇者佐藤卓史が2014年にスタートした、フランツ・シューベルトのピアノ関連器楽曲(独奏曲、連弾曲、室内楽曲)のすべてを網羅的に演奏するプロジェクトです。最新の研究成果を駆使しての知的な洞察、独自の観点からの未完作品の補筆など、作曲家への愛情と共感に溢れた新しいシューベルトの世界を提示しています。

使用楽器は「ベーゼンドルファー・インペリアル」。

ベーゼンドルファー社はシューベルトが他界した1828年にウィーンで創業、以来世界有数のピアノメーカーの一角に君臨し続けています。昔ながらの手づくりにこだわり、鉄骨フレームではなく木製の外枠で弦の振動を増幅させる設計は、他のピアノとは全く異なるベーゼンドルファーだけの特徴。これによって生まれる優しくまろやかな音色は「ウイナ・トーン」と呼ばれ、シューベルトに代表されるウィーンの音楽との相性は抜群です。なかでもフラッグシップモデルの「290」は、通常のピアノよりも低音域が9音拡張され、97の鍵盤を持つ超大型コンサートグランド。拡張された9鍵は、通常使用されることはありませんが、低音弦の共鳴が深く温かい響きをもたらし、「インペリアル」の愛称で知られています。



18歳のシューベルトが取り組んだ「はじめてのピアノ・ソナタ」。

シューベルトが「ピアノ・ソナタ第1番」として知られるD157に着手したのは、1815年2月18日のこと。その1週間前、2月11日に試みられた「初稿」(D154)は全く違う音型で始まり、未完のまま残されました。作曲家没後の1843年に「5つのピアノ曲」として出版され、現在では「ピアノ・ソナタ第3番」と呼ばれるD459+D459A、その自筆譜が裏面に書きつけられていた「30のメヌエット」D41など、謎多き初期作品の全容を解き明かします。未完作品には、今回も佐藤卓史がオリジナルの補筆を施し、初めて音になって皆様に届きます。10代のシューベルトの瑞々しい感性が進る早春の午後、どうぞお楽しみに。

※第12回公演は3月1日に開催が予定されていましたが、新型コロナウイルスに関する政府発表を受けて中止となりました。本公演はその振替公演です。既に3月1日公演のチケットをお持ちのお客様はそのままご入場いただけます。

詳しくは連動ブログで!

シューベルトティアード電子版

検索

Profile

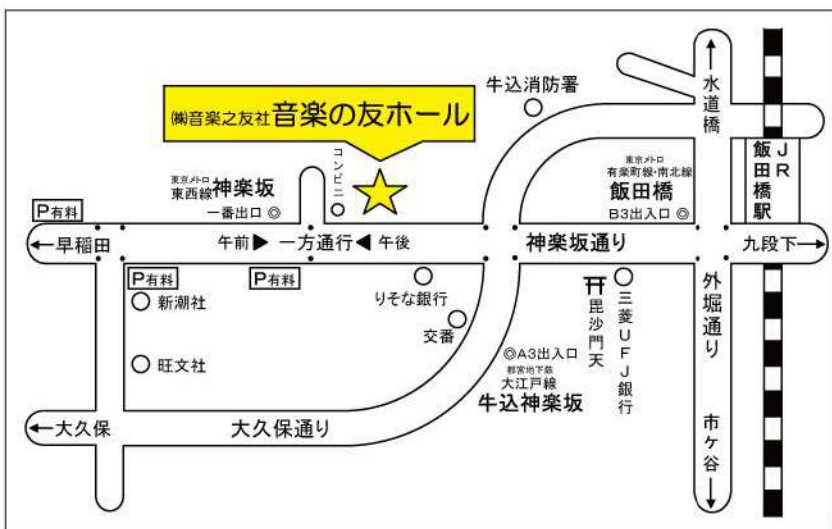
プロフィール ● 佐藤卓史(さとう・たかし)

1983年秋田市生まれ。高校在学中の2001年、第70回日本音楽コンクールで第1位。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。その間国際舞台においてめざましい活躍を遂げ、2006年ミュンヘンARD国際コンクール特別賞、2008年シドニー国際コンクール第4位ならびに最優秀ショパン演奏者賞、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントウ国際コンクール第1位、メンデルスゾーン国際コンクール最高位など受賞多数。とりわけ2007年第11回シューベルト国際コンクールでの優勝と、その後の世界各地での演奏活動によりシューベルト弾きとしての国際的名声を獲得した。

指揮者ジョナサン・ノット氏からの抜擢により、同氏の東京交響楽団音楽監督就任披露演奏会においてソリストを務めたのをはじめ、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、シドニー交響楽団、ベルギー国立管弦楽団など内外のオーケストラと多数共演。2013年にはデビュー10周年を記念してリサイタルツアー「ベートーヴェン 4大ピアノ・ソナタを弾く」を実施、全国16都市で演奏し好評を博した。

レコーディング活動にも積極的に取り組んでおり、日本と欧州で多数のCDを発表。放送出演も多く、現在はBSテレ東「おんがく交差点」(土曜朝8:00～)にレギュラー出演中。室内楽、作編曲など多方面で活躍している。

国際フランツ・シューベルト協会会員。 公式サイト www.takashi-sato.jp



音楽の友ホール

新宿区神楽坂6-30 (株)音楽之友社内
TEL 03-3235-2115

- 神楽坂駅(東京メトロ東西線) 1番出口より徒歩1分
- 牛込神楽坂駅(都営大江戸線) A3出口より徒歩7分
- 飯田橋駅(東京メトロ東西線) B3出口より徒歩11分
- 飯田橋駅(JR) 西口より徒歩12分